



Database

第9回: SQL言語(データベース操作: 集合関数・抽出条件・副問い合わせ)

上智大学理工学部情報理工学科
高岡詠子



No reproduction or republication without written *permission*.
許可のない転載、再発行を禁止します

今日の授業

- ▶ **データベース操作のおさらい**
 - ▶ データベースの参照
 - ▶ データベースの登録・変更・削除
- ▶ **集合関数・抽出条件**
- ▶ **副問い合わせ**



① 次の3つのテーブルインスタンスチャートをつくる

学生(student)

* **学生番号**

(studentID)

* **メールアドレス**

(email)

* **学部コード(facID)**

* **学科コード(deptID)**

フレイスメントテスト

の成績(grade)

所属サークル(club)

学部(faculty)

* **学部コード**

(facID)

* **学部名(facName)**

学科(department)

* **学科コード**

(deptID)

* **学科名**

(deptName)

② Univという名前のデータベース空間をつくる

③ Univという名前のデータベース空間にアクセスする

④ 次の3つのテーブルをつくる



NOT NULL制約

PRIMARY制約

UNIQUE制約

REFERENCE制約

列名称 (属性)	student ID	email	facID	deptID	grade	club
データ型	INT	VARCHAR	INT	CHAR	INT	VARCHAR
最大データ型	12	60	7	7	4	50
キー種						
一意性						
入力必須						



学部 (faculty)

* 学部コード
(facID)

* 学部名 (facName)

列名称	facID	facName
データ型	int	char
最大データ型	7	30
キー種		
一意性		
入力必須		

学科 (department)

* 学科コード
(deptID)

* 学科名 (deptName)

列名称	deptID	deptName
データ型	int	char
最大データ型	7	30
キー種		
一意性		
入力必須		



faculty

facID	学部名
1	理工学部
2	文学部
3	神学部
4	外国語学部
5	国際教養学部

CHECK制約:

10の位は学部コードと同じにしたい

department

deptID	学科名
11	機能創造理工
12	物質生命理工
13	情報理工
21	哲学科
22	史学科



```
CREATE TABLE student
(
    studentID int(12) PRIMARY KEY ,
    email      varchar(60) UNIQUE NOT NULL,
    facID      INT(7)   NOT NULL,
    deptID     INT(7)   NOT NULL,
    grade      INT(4),
    club       varchar(50),
    CHECK( facID=deptID div 10)
);
```

CHECK制約:
10の位は学部コードと同じにしたい

列名称 (属性)	student ID	email	facID	deptID	grade	club
データ型	INT	VARCHAR	INT	CHAR	INT	VARCHAR
最大データ型	12	60	7	7	4	50
キー種	PK		FK1	FK2		
一意性	①	②				
入力必須	NN1	NN2	NN3	NN4		




```
CREATE TABLE faculty
(
    facID      int(7) PRIMARY KEY,
    facName    char(30) NOT NULL
);
```

列名称	facID	facName
データ型	int	char
最大データ型	7	30
キー種	PK	
一意性	①	
入力必須	NN1	NN2

```
CREATE TABLE department
(
    deptID      int(7) PRIMARY KEY,
    deptName    char(30) NOT NULL
);
```

列名称	deptID	deptName
データ型	int	char
最大データ型	7	30
キー種	PK	
一意性	①	
入力必須	NN1	NN2



データの登録: insert

- ➡ 1行追加: insert into テーブル名 values(カラムの内容);
- ➡ insert into faculty values(1,"理工学部");
- ➡ insert into faculty values(2,"文学部");
- ➡ insert into faculty values(3,"神学部");
- ➡ insert into faculty values(4,"外国語学部");
- ➡ insert into faculty values(5,"国際教養学部");
- ➡ 8学部分のデータベースを自分でつくきましょう。順序は問わない

faculty

学部コード	学部名
1	理工学部
2	文学部
3	神学部
4	外国語学部
5	国際教養学部



データの登録: insert

8学部の各学部ごとに
いくつかの学科があるか調べて
自分データベースをつくろう

10の位は学部コードと同じ

department

学科コード	学科名
11	機能創造理工
12	物質生命理工
13	情報理工
21	哲学科
22	史学科

➡ 1行追加: insert into テーブル名 values(カラムの内容):

➡ insert into department values(11,"機能創造理工");

➡ insert into department values(12,"物質生命理工");

➡ insert into department values(13,"情報理工");

➡ insert into department values(21,"哲学科");

➡ insert into department values(22,"史学科");



student

データの登録: insert

学生番号	メールアドレス	学部コード	学科コード	プレイスメントテストの成績	所属サークル
12345	aaa@sophia.ac.jp	1	11	89	カト学生
12346	abc@sophia.ac.jp	1	13	NULL	ETL
12347	bbb@sophia.ac.jp	2	21	67	BLT
12348	ccc@sophia.ac.jp	3	31	30	AUX
12349	aaa@sophia.ac.jp	4	42	42	

- ➡ 1行追加: insert into テーブル名 values(カラムの内容):
- ➡ insert into student values(12345,"aaa@sophia.ac.jp",1,11,89,"カト学");
- ➡ insert into student values(12346,"abc@sophia.ac.jp",1,13,NULL,"ETL");
- ➡ insert into student values(12347,"bbb@sophia.ac.jp",2,21,67,"BLT");
- ➡ insert into student values(12348,"ccc@sophia.ac.jp",3,31,30,"AUX");
- ➡ insert into student values(12349,"ddd@sophia.ac.jp",4,42,90,"");



テーブルやデータの削除

▼データのみの削除

▼ _____ from テーブル名;

▼ _____ from テーブル名
_____ 条件;

▼ _____ from subject
_____ studentID="12352";

▼データだけでなくテーブルごと削除する

▼ _____ table テーブル名;



データの更新



表名

カラム名 = 値, カラム名 = 値

条件:



student

facID=5, deptID=51;

studentID=12352;



今日の授業

- ▶ データベース操作のおさらい
 - ▶ データベースの参照
 - ▶ データベースの登録・変更・削除
- ▶ **集合関数・抽出条件**
- ▶ 副問い合わせ



先週の例

shopSale

shopname	sales	date
紀尾井町	450,000	11/1
高輪	320,000	11/3
赤坂	876,600	11/5
品川	438,000	11/3
紀尾井町	200,000	11/10
赤坂	120,000	11/13
赤坂	40,000	11/20
高輪	450,000	11/3
品川	220,000	11/5
高輪	110,000	11/18
品川	220,000	11/15

netSale

sales	date
120,000	11/1
150,000	11/7
250,550	11/13
320,000	11/20



最も多く使われるSQL問い合わせ

➡ 基本構文

➡ select **カラム名1, カラム名2, カラム名3...**
from **表名1, 表名2,**
where **抽出条件**
group by **グループ化を行う**
having **グループ化を行ったとの抽出条件**
order by **並べ替えを指定する**

➡ 導出された表: 導出表

➡ データベースに格納されている表: 実表



集合関数を使ったselect文

➤ グループ化を行う

➤ shopSale表においてshopnameごとの売り上げを表示 させたいとき

```
select shopname, sum(sales) from shopSale  
_____ shopname;
```

➤ 関数の値に条件をつける(whereは使えないから)

```
select shopname, sum(sales) from shopSale  
group by shopname  
_____ sum(sales) > 10000000;
```



抽出条件で指定する演算子

演算子	説明
比較演算子	< <= = >= > <>
BETWEEN	～以上～以下
IN	いずれかの値と等しい
IS NULL	NULL判定
LIKE	部分一致検索



集合関数一覧

- ➡ **SUM()**
指定条件によって得られた列の値の合計を求める関数
- ➡ **AVG()**
指定条件によって得られた列の値の平均値を求める関数
- ➡ **MAX()**
指定条件によって得られた列の値の中で最大値を返す関数
- ➡ **MIN()**
指定条件によって得られた列の値の中で最小値を返す関数
- ➡ **COUNT()**
指定条件によって得られた表の基数、すなわち行数を求める関数



集合関数を使ったselect文

➡ 重複行を除外する

➡ shopSale表からshopNameに関して重複行を除外して表示させる

➡ 数える

```
select count(shopName) from shopSale;
```

➡ 異なる列の値を数える

```
select count(_____ shopName) from  
shopSale;
```

➡ 平均値を出す

```
select _____(grade) from student;
```



抽出条件で指定する演算子

演算子	説明
比較演算子	< <= = >= > <>
BETWEEN	～以上～以下
IN	いずれかの値と等しい
IS NULL	NULL判定
LIKE	部分一致検索



BETWEEN演算子

▶ 期間指定

```
select * from shopSale where date  
_____ 20091101 and 20091109;
```

▶ 期間指定とソート

```
select * from shopSale where date  
_____ 20091101 and 20091109  
_____ date;
```

2009年11月1日から11月9日の間のshopSaleの
情報を日付順に表示する



抽出条件で指定する演算子

演算子	説明
比較演算子	< <= = >= > <>
BETWEEN	～以上～以下
IN	いずれかの値と等しい
IS NULL	NULL判定
LIKE	部分一致検索



IN演算子

普通問い合わせ

```
select *  
from shopSale  
_____ shopname = "紀尾井町";
```

IN演算

```
select *  
from shopSale  
where shopname _____ ("紀尾井町", "赤坂");
```

紀尾井町または赤坂の情報を含んだ行が出力される

```
select *  
from shopSale  
where shopname _____ ("紀尾井町", "赤坂");
```

紀尾井町または赤坂以外の情報を含んだ行が出力される



抽出条件で指定する演算子

比較演算子	< <= = >= > <>
BETWEEN	～以上～以下
IN	いずれかの値と等しい
IS NULL	NULL判定
LIKE	部分一致検索



IS NULL演算子

```
➡ select * from student  
   where club _____;
```

所属サークルの名前がわからない人の情報を表示したい

NULLと空白の違い

どのサークルにも所属していない場合は空白
所属しているサークル名が不明の場合はNULL

NULLの扱い

値がない場合の入力値として使う。
不明(記録時にわからない), 未定(これから決まる), 無意味など
値がない = 他と比較できない, 平均値を求める演算の対象から
はずさなくてはならないなど



抽出条件で指定する演算子

演算子	説明
比較演算子	< <= = >= > <>
BETWEEN	～以上～以下
IN	いずれかの値と等しい
IS NULL	NULL判定
LIKE	部分一致検索



▶ パターンマッチ

select * from shopSale where date like _____;

11月の10日から19日までの売上情報を表示したい

**'A_Z' Aから始まり一文字をいれてZで終わる
ABZ, AZZなど. ADDZはNG**

**'ABC%' ABCから始まる文字列
ABC, ABCD, ABCCCCなど. ABBCはNG**

**'%AN%' ANを含む文字列
LOS ANGELS, SAN FRANCISCOなど.**

select * from shopSale where date ____ like _____;

11月の10日から19日までを除く期間売上情報を表示したい



今日の授業

- ▶ データベース操作のおさらい
 - ▶ データベースの参照
 - ▶ データベースの登録・変更・削除
- ▶ 集合関数・抽出条件
- ▶ 副問い合わせ



副問い合わせに指定する演算子

- ▶ 副問い合わせ: 探索条件の中に指定する問い合わせ(問い合わせの入れ子)

演算子	説明
比較演算子	$< <= = >= > <>$
IN	いずれかの値と等しい
EXISTS	出力があるかどうかの判定

右側の式に
副問い合わせ
を指定

副問い合わせ
のみで使用



比較演算子

- ▶ 副問い合わせの結果は1列かつ1行(一つの値)でなければならない
- ▶ 比較するため
- ▶

```
select * from student  
where grade >=  
      (select avg(grade) from student)
```

プレイスメントテストが平均点以上の学生情報



IN演算子

- ▶ 副問い合わせの結果は1列の場合は複数行でもよい。
- ▶ 比較するため
- ▶ `select deptName from department
where deptID in(
 (select deptID from student where
 grade>=70)`

**フレイスメントテストが70点以上の学生が
所属する学科名を知る**



問題

**プレイスメントテストが平均点以上の学生が
所属する学科名を知る**

```
▶ select deptName from department  
   where deptID in  
     (select deptID from student where  
      grade>=(select avg(grade) from  
               student));
```



EXISTS演算子

- ▶ select date from netsale where
_____ (select * from shopsale
where shopsale.date = netsale.date);
- ▶ select date from netsale where date
_____ (select date from shopsale);

店舗でもネットでも売り上げがあった日を知りたい

